

此の心切なりと仰せ給ふのであり。此際、一東京市
を存らすして、帝國の總理大臣たる閣下は、その聖旨を
奉體して、その全力を東京の復興發展以上、以外、帝國
全体の一大革新に傾注努力せらる可きはありませぬ。
か。這の未曾有の大震災、大自然の手の大破壊を絶妙の
機会として、帝都復興の詔勅に示されたる聖旨をば、帝
國整体上に敷衍實現せしめらる可きではありませぬか。
中程一部の臨時的事業を完成すると共に、帝國全体の永
久の大業に着手せられ、二、真に閣下は大正日本の偉
大なる政聖たり、歴史の創造者たり、閣下大衆の渴望す
る救世主たるの實績を示さる所以ではありませぬか。
生等は信じます、

一般國民亦能く政府に施設を策す

閣下は一東京市長では在られませぬ。そして閣下の内閣
は決して臨時内閣ではありませぬ。新聞記者は閣下の内
閣を稱して地震内閣と云ふ。地震内閣の命名は妙なりと
雖も、閣下の内閣にして民衆の眞理を要望に添ふ事なく
ば、その内閣は永く地震と共に呪はるべく、生等は閣下
及び閣員諸公の大果斷、大政策の功徳に依り、地震内閣
の名を帝國史上絶大の名たらしめ、人事を翻望して止まら
ざるものであります。

愚昧生等が以てする迄は、此際閣下が果斷を以て、
帝都の復興と共に全國の改革に努力せらるべきは、正に